

組織拡大と実態調査

明日に希望が持てる産業に

(岩手地本)

2012年8月5日 社民党細川光正盛岡市議会議員も参加し、全自交運動のすばらしさを訴えた。



岩手地本では8月5日、36度となる猛暑の中組織拡大と労働条件について聞き取りを行いながら釜石市に向けて一斉行動を実施致しました。

盛岡市内では、社民党細川光正盛岡市議会議員(岩手地本組織内議員)も参加し、炎天下の中、額に汗を流し、震災時の支援や新タクシー事業法への制定に向けての取り組みなど全自交運動のすばらしさを訴え、職場に労働組

合を作り全自交に結集することの必要性を訴えました。

労働条件の聞き取り調査では、減車への取り組み、継続雇用条件の高齢者が多く組合活動はできこととした。

企業の誘致やイベントの実現によるタクシー産業の活性化を実現などが訴えられました。また、未だに最低賃金制度を知らないで働いて至り、1ヶ月働いて10万円の給料が相場である考え方が板について、こんな環境を何とかしようとの気迫が全く感じられない実態が続いていた。

岩手地本は企業内にいる非組合員や地域の未組織労働者に対して、継続して組織拡大行動を実行し、労働相談を広く受けながら、1人でも全自交に参加できることを知らせ組織の拡大に繋げていくこととした。更に、減車の実現や同一地域同一運賃の必要性、明日に希望が持てる産業、頑張れば稼げる産業にしてもらいたいなどと訴えられたことを受け、新タクシー事業法の制定の早期成立に向け、関係各位と連帯を強化して行動する。